

# 平成15年度 和歌山県文化功労賞

やまもと まさる  
山 本 賢

住 所：和歌山県日高郡南部町  
出 身 地：和歌山県日高郡南部町  
生 年：昭和3年

部川ふるさとの川整備計画や紀州語り部専門員、  
県河川環境保全アドバイザーなどとして県行政に  
も積極的に貢献してきて業績は大である。

## ◎業績及び経歴

日高地方の小中学校教諭、指導主事、教頭、校長として、県中学校社会科教育課程研究調査員、教科書研究調査員(6回)などを歴任し、積極的・指導的に活動する傍ら、歴史学(特に地方史)を研究する。

その成果として、氏は、昭和34年教材用に「切目誌料」を発刊、昭和39年「続日高郡誌」の編集委員をはじめ、「南部町史」の編纂主任、編纂副委員長を歴任、「南部川村戦後50年史」の編纂専門員として5,000頁余を執筆したほか、3市町村史の執筆委員としてその博識を発揮する。

この間、昭和37年に県教育委員会が実施した埋蔵文化財包蔵地調査員となったのを契機に、那智山坊跡や鷹島遺跡等の発掘調査員を務め、民俗文化財、古文書、歴史の道等の文化財調査の調査員(約20回)としても活躍した。その後、卓抜した学識と指導力により大目津泊り遺跡発掘調査委員、県民俗芸能悉皆調査委員等として、後進の指導に当たった。

昭和45年の和歌山県文化財地区保護指導員制度の発足と同時に指導員(昭和51年より和歌山県文化財保護指導委員)として活躍され、現在まで30有余年の永きにわたって県指定文化財、埋蔵文化財等の保護に尽力してきた。

また、昭和50年には南部町文化財保護審議委員会委員(平成5年、同委員長)に就任し、地域にあって厚い信望を得ている。

こうした高い学識と信望は、文化財行政だけでなく県政全般に活かされ、「和歌山県史」刊行、南

## ■現在

和歌山県文化財保護指導委員  
和歌山県観光ガイド専門員(紀州語り部)  
南部町文化財保護審議委員会委員長  
南部町文化財保護指導委員  
南部町長寿大学長

## ■主な表彰歴等

昭和50年 「続日高郡誌」編纂・執筆功労感謝状  
(日高郡町村会長)  
昭和52年 「文化財保護と調査研究」功労表彰  
(県文化財研究会長)  
昭和63年 和歌山県連合小学校長会  
副会長感謝状  
平成9年 南部町教育功労表彰